

## ナシ「ひたち1号」の新梢誘引による花芽着生促進

### [要約]

ナシ「ひたち1号」は、6月下旬から7月上旬に新梢誘引を行うとえき花芽着生が促進される。予備枝から発生する新梢の誘引は、無処理より2～3倍程度の花芽数が確保でき、不定芽由来の新梢では2～4倍程度の花芽数が確保できる。

茨城県農業総合センター園芸研究所

成果  
区分

技術情報

### 1. 背景・ねらい

生物工学研究所が育成したナシ新系統「ひたち1号」は「幸水」よりも早い8月上旬に収穫でき、高糖度であるため本県オリジナルの早生品種として期待される。しかし、花芽の着生が悪く、短果枝の維持が難しい傾向にあり、安定生産のための栽培技術が明らかになっていない。そこで、新梢の誘引処理による花芽着生促進方法を検討する。

### 2. 成果の内容・特徴

- 1) 「ひたち1号」のえき花芽の着生は、「幸水」と同等でやや悪い(表1、2)
- 2) 長さ25cm程度、基部径12mm程度の予備枝から発生した新梢を6月26日に棚面に対して45～60度となるよう誘引処理を行うと花芽数は10.1個、花芽率は37.5%で、誘引処理を行わない場合に比べ3倍程度の花芽数が確保できる。7月6日処理では花芽数7.0個、花芽率は24.8%で、誘引処理を行わない場合に比べ2倍程度の花芽数が確保できる(表3)。
- 3) 不定芽由来の新梢を6月25日に棚面に対して45～60度となるよう誘引処理を行うと花芽数は5.6個、花芽率は28.3%で、誘引処理を行わない場合に比べ4倍程度の花芽数が確保できる。7月8日処理では花芽数2.4個、花芽率は10.1%で、誘引処理を行わない場合に比べ2倍程度の花芽数が確保できる(表4)。

### 3. 成果の活用面・留意点

- 1) 「幸水」のえき花芽率の平年値は、定芽が39.7%、不定芽が14.5%である。
- 2) 花芽の着生率はその年の気象条件により前後する。
- 3) 予備枝から発生した新梢を誘引する場合、新梢基部が折れやすいため、新梢が棚面に対して45～60度になるように予備枝を誘引する。
- 4) ナシ「ひたち1号」は現在、品種登録出願中である。

#### 4. 具体的データ

表1 ナシ「ひたち1号」と「幸水」の不定芽新梢の花芽着生状況(平成21年)

品種	樹齡 年	新梢長 cm	全芽数	花芽数	葉芽数	花芽率 %
ひたち1号	高5 1)	139.1	25.7	1.1	24.6	4.1
幸水	21	144.7	22.3	1.1	22.1	4.9

注1) 高は高接ぎ樹

表2 ナシ「ひたち1号」と「幸水」の定芽新梢の花芽着生状況(平成21年)

品種	樹齡 年	剪定後の予備枝		新梢長 cm	全芽数	花芽数	葉芽数	花芽率 %
		長さcm	基部径mm					
ひたち1号	高5 1)	23.4	11.7	135.1	25.8	3.6	22.2	14.0
幸水	21	32.1	11.4	136.7	22.0	2.4	20.0	11.0

注1) 高は高接ぎ樹

表3 予備枝の誘引時期の違いがナシ「ひたち1号」の花芽着生に及ぼす影響(平成21年)

誘引時期 (月日)	剪定後の予備枝		新梢長 cm	全芽数	花芽数	葉芽数	花芽率 %
	長さcm	基部径mm					
6月26日	24.0	12.1	131.7	26.9	10.1 a	16.8	37.5 a
7月6日	25.4	11.9	133.3	28.2	7.0 ab	21.2	24.8 ab
無処理	23.4	11.7	135.1	25.8	3.6 b	22.2	14.0 b
F検定	n.s	n.s	n.s	n.s	*	n.s	*

注1) F検定は、\*:5%、\*\*:1%、\*\*\*:0.1%で有意。n.s:有意差なし。

注2) 多重比較は、Tukey検定。異なる英文字間で有意(P<0.05)

表4 不定芽新梢の誘引時期の違いがナシ「ひたち1号」の花芽着生に及ぼす影響(平成20年)

誘引時期 (月日)	新梢長 cm	全芽数	花芽数	葉芽数	花芽率 %
6月25日	142.4	28.2 ab	5.6 a	22.6 b	28.3 a
7月 8日	147.4	28.8 a	2.4 b	26.4 a	10.1 b
無処理	144.9	26.4 b	1.2 b	25.2 ab	5.9 b
F検定	n.s	*	***	*	**

注1) F検定は、\*:5%、\*\*:1%、\*\*\*:0.1%で有意。n.s:有意差なし。

注2) 多重比較は、Tukey検定。異なる英文字間で有意(P<0.05)

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

ナシ「ひたち1号」、ナシ「ひたち2号」の栽培技術の確立・平成20~22年・果樹研究室